

6月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども
R8. 5. 29 文京区立本駒込幼稚園



今だからこそ楽しめる遊び

副園長 蟹 知子

爽やかな風が心地よく、子どもたちは戸外で過ごす楽しさを味わっています。梅雨入り、そしてその後の本格的な夏の暑さを迎える前の今、園庭では虫を探したり、ピクニックごっこをしたり、この時期ならではの楽しい遊びが見られます。中でも砂場は今の季節に存分に楽しむことのできる活動の一つです。

年長すみれ組は、裸足になり、水を使いながら大きな山や海を作って、ダイナミックに遊んでいます。足の裏で砂や水の感触や冷たさを感じながら、全身を使って楽しむ様子が伝わってきます。長い水路を作りたい、川をつなげたい、毎日試行錯誤しながら、自分たちが思い描いた通りにいかなくても、頭も体もフル回転で夢中になって遊んでいます。

年少ちゅうりっぷ組、年中さくら組の子どもたちは、すみれ組の遊ぶ姿に「自分たちもやってみたい」と心を動かされています。すみれ組のように大きいものは作れませんが、自分たちなりに山を作ったり、小さなシャベルで穴を掘ってみたり、また、少量の水を使ってドロドロっと変化する砂や水の感触を味わったりしています。

開放感を味わいながら思い切り遊んだ経験は、「もっと遊びたい」という意欲につながります。子どもたちは毎日繰り返し遊ぶ中で、満足感や達成感を味わっています。幼児期においては、この砂場での遊びのように身体感覚を伴い全身で環境に関わる経験が、豊かな感覚や心身の発達につながっていきます。また、その中で、友達と一緒に目的に向かったり、自分のやりたいことを追求したりする姿も見られます。あの小さな砂場の中には、子どもたちの「やってみたい」という思いや多くの育ち、なによりも「楽しい」がたくさん詰まっています。

6月も引き続き、機会を逃さずに“今”しか味わえない季節の遊びを大切に、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出していきたいと思います。まだしばらくは、泥だらけの洋服を持ち帰る日が続くかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

